

# 製品安全データシート

2013/11/29

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	IR-91B
管理No.	MS-24-0478
会社名	ユニオンケミカル株式会社
住所	〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-10
電話番号	072-856-3321
緊急連絡電話番号	072-856-3321
FAX番号	072-866-2647

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

火薬類	分類できない
可燃性/引火性ガス	区分対象外
可燃性/引火性エアゾール	区分対象外
支燃性/酸化性ガス	区分対象外
高压ガス	区分対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	区分対象外
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性	分類できない
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入；ガス）	区分対象外
急性毒性（吸入；蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入；粉塵、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分2

吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	分類できない

### ラベル要素

絵表示

健康有害性



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ(肺)

注意書き

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分表

成分	CASNo.	含有量	労安法	化管法	毒劇法
カーボンブラック	1333-86-4	<10	該当	非該当	非該当
顔料	非公開	<5	該当	該当	非該当
樹脂	非公開	<10	非該当	非該当	非該当
染料	非公開	<10	非該当	非該当	非該当
油剤	非公開	70-80	非該当	非該当	非該当

### 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

大量の水と石鹸で洗い流し、外観に変化が見られる場合、痛みが続く場合は医師の手当てを受けること。

眼に入った場合

大量の水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないで、水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

消化剤

粉末消火薬剤、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。

使ってはならない消火剤

消火に棒状の水は用いてはならない。

特定の消化方法

- ① 火元の燃焼元を断つ。
- ② 消火作業の際には風上から行い保護服を着用する。
- ③ 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ④ 周囲の設備などに散水して冷却する。
- ⑤ 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護

消火作業の際には適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

多量に漏出した場合

- ① 漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ② 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ③ 作業の際には必ず保護具を着用する。

**環境に対する注意事項  
除去及び回収方法  
大量の場合**

**少量の場合**

- ④ 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
少量の場合  
必要に応じて保護手袋を使用すること。  
流出したインキが河川、下水道などに排出されないように注意すること。  
漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収し密閉すること。  
布などのインキ吸収材で完全に拭き取ること。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

**取扱い**

特にありません。

**保管**

直射日光を避け、換気の良いところに保管すること。

**8. 暴露防止及び保護措置**

**許容濃度**

**設備対策**

特別な設備は必要ありません。

**保護具**

必要であれば、保護手袋又は/及び保護眼鏡等を使用すること。

**9. 物理的及び化学的性質**

**外観** 黒色の液体  
**臭い** 特有なインキ臭  
**pH** データなし  
**沸点(°C)** データなし  
**引火点(°C)** 170°C以上

**蒸気圧** データなし  
**蒸気密度** データなし  
**比重** データなし  
**溶解度** 水にほとんど溶解しない  
**爆発範囲** データなし

**10. 安定性及び反応性**

**安定性**

通常の実用条件においては安定である。

**危険有害反応可能性**

データなし

**避けるべき条件**

高温、加熱、火源、直射日光

**混融危険物質**

強酸、強塩基、酸化剤

**危険有害な分解生成物**

燃焼の際、一酸化炭素及び二酸化炭素などの有毒ガスを発生することがある。

**11. 有害性情報**

急性毒性(経口)

区分外;カーボンブラック、染料  
分類できない;その他の成分  
分類するだけのデータがないため、分類できない。

急性毒性(経皮)

区分外;染料  
分類できない;その他の成分  
分類するだけのデータがないため、分類できない。

急性毒性(吸入;ガス)

GHS定義により液体のため、区分対象外。

急性毒性(吸入;蒸気)

区分外;染料  
分類できない;その他の成分  
分類するだけのデータがないため、分類できない。

急性毒性(吸入;粉塵、ミスト)

区分外;染料  
分類できない;その他の成分  
分類するだけのデータがないため、分類できない。

皮膚腐食性/刺激性

区分外;染料  
分類できない;その他の成分  
分類するだけのデータがないため、分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／刺激性	区分外;染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
呼吸器感作性	分類できない;すべての成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
皮膚感作性	区分外;染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない;すべての成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
発がん性	分類できない;すべての成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
	<p>※ カーボンブラックに対する各機関での発がん性評価結果  IARC:2B(ヒトに対して発がん性を示す可能性がある。)  ACGIH:A4(ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質)  EPA:発がん性物質に該当せず。  EU:発がん性物質に該当せず。  NTP:発がん性物質に該当せず。  日本産業衛生学会:2B(人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質。証拠が比較的十分でない物質)  以上のように、各機関によって評価が異なるため、カーボンブラックについては、分類できないと判断される。</p>
生殖毒性	区分外;染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外;染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分1(肺);カーボンブラック 分類できない;その他の成分 区分1の成分を1%以上10%未満含むため、区分2に分類される。
	<p>※通常の使用状態では、カーボンブラックを吸入暴露することはありません。</p>
吸引性呼吸器有害性	分類できない;すべての成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。

## 12.環境影響情報

水生環境有害性(急性)	区分外;カーボンブラック、染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。
水生環境有害性(慢性)	区分外;染料 分類できない;その他の成分 分類するだけのデータがないため、分類できない。

## 13.廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理を行うこと。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性等を十分告知の上、処理を委託すること。

### 汚染容器及び包装

空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分すること。内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

